



横浜市立富岡小学校

学校だより4月号



ご入学 ご進級 おめでとうございます

～新年度を迎え、新たな自分を見つけるチャレンジを～

校長 黒木 英晴

新6年生が新年度の準備に登校してくれた4月3日の朝、正門には、見事に満開に咲いた桜の花のピンクとその背景にある青空のコントラストがたいへん美しく感じられました。本日、着任式、始業式、そして入学式が行われ、令和8年度が始まりました。子どもたちは学年が一つ進級し、そして、新たに66名の1年生が入学します。ご進級、そしてご入学、誠におめでとうございます。新しい名簿を手にして、これからどんな出会いが待っているのかワクワク、ドキドキしていることと思います。そして、新1年生、これから始まる小学校生活に不安と期待が入り混じっているのではないのでしょうか。しかし、子どもたちが安心して学校生活が過ごせるように、そしてみんなが気持ちよく新年度を迎えられるように、4月3日に6年生が心を込めて入学式や新年度の準備をしてくれました。その姿は、最高学年としての自覚を感じ、とても頼もしく思いました。6年生は、富岡小学校のニューリーダーです。6年生とともに教職員一同チーム力を発揮して学校教育目標「ともに みとめあい おしえあい かがやこう 富岡」を目指して頑張りたいと思います。一年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

新年度を迎えるにあたって、これまでとは違う1年にするためには、日々の生活とは違う新たな挑戦を意識して取り組む必要があると思います。卒業式の「はなむけの言葉」の中で「私たちが日々繰り返している日常は何ものにも替えがたい大切なものです。しかし、それが当たり前の習慣になってしまうと輝きが失われてしまいます。」と話しました。輝いていくためには、新たなことに挑戦し続けていくことが大切だと思います。「心の中で思ったり考えたりしているだけでは何も変わらない」「どんなに強く願っていても現実是不変なもの」という気持ちは常に現れるものです。しかし、それを打破するのはやはり自分の心次第だと考えています。書家で詩人の相田みつをさんは、「幸せはいつも自分の心が決める」という言葉を残しています。子どもたちをよく見ていると、常に何かに挑戦している姿に出会います。未来は今の積み重ねの中にあるのではなく、子どもたちの心にあると考えています。

3月29日（日）の神奈川新聞の1面に「個性輝く居場所に」という見出しでカラフルルームが大きく取り上げられました。その前文の中に「多様な個性に寄り添い、何色もの輝きを育む場として機能し始めている。」と書かれています。私は、このカラフルルームの実践を通して、学校が様々な色に輝き始めているのではないかと考えています。さらに学校があらゆる場所で輝くためには、児童と教職員そして保護者や地域の皆様が丸となって様々なことにチャレンジすることが大切だと思います。153年目を迎える富岡小学校、その歴史と伝統の中で新たな挑戦を始めていきます。



富岡小ホームページへ、ぜひお越しください！

HP内の『富小ダイアリー』を随時更新しています。お楽しみに！

右のQRコードを読み取ると、富小HPへ移動します。